

## 平成27年度 第1回周南市食育推進市民会議議事録

日時：平成27年7月27日（月）13:30～15:00

場所：徳山保健センター1階 健診ホール

### 1. 開会

出席者 12名

所 属	氏 名
公募委員	井上 芳佳
公募委員	牛島 和子
周南市母子保健推進協議会	兼重 江美子
熊毛学校給食センター	久保島 朋子
周南市農業協同組合 企画管理部	桑原 正徳
山口大学教育学部	友定 保博
山口県栄養士会 周南専門部	中村 菜由
周陽小学校 PTA	花本 智恵美
三丘保育園	深町 和子
山口県漁業協同組合 周南統括支店	藤村 和義
菊川幼稚園	増原 恵子
農事組合法人 渋川	安永 芳江

委任状3名

事務局5名

本日の欠席者は3名で、委任状を提出していただいている。

周南市食育推進市民会議設置要綱第6条により本会議は成立している。

### 2. 健康医療部長あいさつ

本市では、平成26年3月に第2次周南市食育推進計画を策定している。全ての市民が心身ともに健康で、生涯にわたり生き生きと暮らすためには、食が重要であり、市民一人ひとりが健全な食生活が実践できるように、家庭、学校、保育所・幼稚園、地域等を中心に市民運動として食育を推進していくことが必要である。本日の会議では子供世代の食育推進に焦点をあて各関係機関がどのような役割を担い、どのように連携していくかについてご意見をいただきたい。

### 3. 議 事

#### (1) 子供世代の食育推進について

ア 周南市食育推進計画目標達成のために各団体が取り組むこと

イ 取組を推進するための課題

## 会長

各関係機関が様々な食育の取組を行っているが、この点と点が結びついて面となり取り組んでいけるとよい。地域の人々が今後継続して食育を実施していけるように、地域に根差した食育の推進を考えていく必要がある。今回の会議では、子供世代の食育推進について絞って考えていきたい。各関係機関が協力・連携するために、食育をどのように進めていきたいのかという思いや願いを共有する必要がある。

子供世代の食育推進について、各団体が取り組むこととその課題について発表をお願いしたい。

## 三丘保育園

園での三色食品群の勉強の仕方を保護者にも見てもらい、「こども あさごはん ちゃれんじ」に年中児が参加した。園だけの教育にとどまらず、園で勉強した内容は家庭での取組に結びつくようにしていきたい。

## 菊川幼稚園

“楽しく食べる”という事をテーマに食育を実施している。「こども あさごはん ちゃれんじ」を園でも実施した。食事のマナーなどの正しい知識と望ましい食習慣について職員自身が勉強し、意識向上していく必要がある。子供の食育に関して、園から家庭にどのように伝えるかが課題。

## 熊毛学校給食センター

第2次周南市食育推進計画の目標及び学校での取組について全教職員に周知する必要がある。栄養教諭・学校栄養職員は給食や試食会、学校保健安全委員会、食育だより、授業等を通して栄養バランス、伝統的な行事食、野菜摂取、共食の大切さを啓発する。食への関心の低い家庭にどのようにアプローチしていくかが課題である。また、知っていることを実践に結びつけるためにはどのような工夫をしたらよいのか考える必要がある。

## 周陽小学校 PTA

日々の生活の中で家庭でできる事を考え、早寝早起きの生活習慣や一緒に食事をする事で親が見本となって子供に「食」に関する知識を伝えていくことが必要である。

## 山口県栄養士会周南地区専門部会

栄養バランスを考えた食事や野菜をしっかりと食べることの大切さの周知を図るためにイベント等で野菜の重量当てクイズを実施し体験できる場を設けている。栄養士会は成人や高齢者にも関わるため、子供世代のみを中心とした参加者を集めるのは難しい。

## JA 周南

JA 周南は17支所（周南市は9支所）で様々な取組を実施しているが、シンプルで分かりやすいテーマを決め、点を面にするような横断的な取組ができればよいと思う。

## 漁業協同組合

漁業協同組合では子供と接する機会が少ない。11月には魚まつりを実施する予定。漁業協同組合でも出来る限りイベントに参加している。道の駅でもお魚のコーナーを設けているため子供たちにもぜひ食べてほしい。

## 農事組合法人 渋川

農事組合法人と渋川をよくする会として地域と協力をして作物を作る体験と調理をする体験を実施している。今年も大根やさつまいもを育てている。子供たちには、“体験させる”ことが一番大切である。参加者を集めることが課題である。

## 公募委員

未就園児から幼児期の食育は家庭内での実践が主となってくるため、地域がいかにサポートしていくかが大切である。

## 公募委員

家庭の中で食育を進めていく必要がある。共働きの家庭が多く、一緒に料理をする機会を設けることは難しいと思うが、幼稚園や学校の行事として呼びかけると良いのではないか。

## 大河内小学校（事務局説明）

各校の現状をしっかりと分析し、食育の年間指導計画に目標と指導項目の関連付けをして単元配置をする。コミュニティスクールの活用や、栄養教諭、食推と連携し、学校、家庭、地域に食育を啓発する。

## 周南市食生活改善推進協議会（事務局説明）

イベント等で食育を発信するのもよいが、日々食育を発信し続けることが大切だと思う。

## 公募委員（事務局説明）

子供が参加できる食育の企画をもっと増やしたらよいと思う。毎月、あるいは1年を通して取り組める企画を考える。

## [質疑応答、説明等]

公募委員：給食試食会はどのように実施しているのか。

熊毛学校給食センター：学年や時期は学校により決まっている。学校でどのような給食を食べているのか、一年生の親に食べてもらうことが多い。

事務局：先程三丘保育園の取組の中で出てきた「こども あさごはん チャレンジ」について説明をしたい。

市では今年度年長児を対象に、朝ごはんに赤・黄・緑の食べ物をそろえて食べるというチャレンジを6月15日～6月21日までの1週間実施した。6月は食育月間であり、19日は食育の日であることから、この期間にチャレンジを実施した。事前に三色食品群について学んでもらいチャレンジに参加していただいたが、事前学習は園独自で実施された園もあれば、健康増進課管理栄養士、保健師と一緒に実施した園もある。

農事組合法人：この取組は全ての園で実施しているのか。

事務局：周南市内の幼稚園、保育所、児童園に募集をかけ、今年度は29園の参加があり、814名の方にご参加いただいた。また、いつでもチャレンジできるように食育のホームページより、チャレンジカードや媒体もダウンロードできるようになっている。

会長：小学生以上の子供は、自分の口が好きな物ではなく、体が好きな物を意識して食べることが大切である。食事とスポーツの関係についても知らせることが大切なのではないか。

魚嫌いの子供が多いのではないか。

漁業協同組合：小学生はすぐに口に入れられるものは好んでよく食べる。

農事組合法人：長門から学びの旅で4人が民泊体験をした。手作りの朝ごはんや地元の玉ねぎを使って牛丼を作ったがみんなよく食べた。手作りがとても大切だと思う。

公募委員：昔は惣菜というものはなかった。自分に子供が出来た時も母親から「手作りのものをたくさん食べさせてあげてね」と言われ、手作りの味を子供に伝えてきた。手作りのおいしさを伝える環境づくりが必要。

会長：家庭科教育が減少している。子供たちに作る体験をすることが大切。以前須々万で朝食メニューコンクールをしていた。それが現在の野菜メニューコンクールに発展した。食育に興味のない人にどのように伝えていくのか考える必要があるが、野菜メニューコンクールはどのように発展させているのか。

事務局：野菜メニューコンクールは今年で9年目。市内の小中学生を対象に夏休みの課題として取り組んでいただいている。昨年度は38校、1,709作品の応募をいただいた。16作品を優秀、24作品を優良として表彰した。また、栄養教諭に給食賞を選んでいただき、全ての学校給食センターを通じて給食賞作品が給食で提供された。レシピ集は、応募者への参加賞として、また、保健センターや食育推進協賛事業者の店舗内にも設置し配布した。

今年度は、子供料理教室を各小学校区の公民館で食生活改善推進員が実施している。子供に料理の体験をさせるという取組を全校区で実施している。

三丘保育園：こども あさごはん ちゃれんじを通して、おにぎらずパーティーを実施する予定。おにぎりの中身を赤、黄、緑の仲間から1つずつ選んで作って食べる。

公募委員：取組の中に食事のマナーと記載されているが、マナーとはどのようなことですか。

三丘保育園：マナーとは、はしの持ち方も食べる時の姿勢も全てを含んでいます。外で遊ぶ子供が少なくなっているため、正しい姿勢をとる筋力が低下している。子供たちも体幹を鍛える必要がある。

会長：「子供世代の食育の推進」として次の世代の子供たちをどう育てていくかが大切である。自分たちがこれなら実施できるということを再度考えていただきたい。

事務局：次回の会議は平成28年1～3月頃を予定にしている。

会長：今年度もう一度会議があるため、それまでに小学生、中学生までの間でどのような食育の取組ができるか再度ご意見をいただきたい。次回の会議開催の2月では少し間があくため、会議開催前に委員の皆様からの意見をお願いしたい。

#### 4. 閉会

委員の皆様から再度意見をいただき、次回会議開催までに課題を整理したい。調査票を改めてお送りする。周南市の食育のホームページも充実したものに变更しているため、ご意見をいただきたい。今後とも食育の推進にご協力いただきたい。